講義名	スポーツ科学演習Ａ（ゴルフ）					授業形態	
担当教員	越智　祐光	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	

主題と概要

ゴルフは、年齢・性別を問わず、生涯にわたって楽しむことが出来るスポーツであり、プレイヤー自身がジャッジし、周囲への気遣いも求められるスポーツである。本授業では、生涯スポーツとして資することを目的とし、生涯を通じて、健康に生きる力を身につけることを目的とする。ゴルフの基礎的な技術の修得と同時に、ルール、マナー、歴史など、ゴルフの知的文化的な部分も学修する。さらには、生涯スポーツとしてのゴルフを通じて、男女問わず学生同士が他者との意見の違いや立場の違いを理解し、協力して物事を進めると同時に、楽しく参加できる機会をしっかりと考え、楽しさを覚えることでゴルフを深く知るきっかけを作り出すことを目的とする。
　また、実践学習へ取り組むにあたり、自ら目標を設定し、達成できるようにする。そのためには、様々な情報を収集したり、周囲と協力をしたりすることなどが求められる。そして、生じた課題に対して、その原因を分析し、どのような手段を用いれば解決できるのかを考え、行動できるようにする。

到達目標

１．「健康」獲得の方法を修得できるようになる。
２．ゴルフに関する歴史やルール、ラウンド時におけるマナーを理解する。
３．自身の技術課題に対して、技術向上のための練習方法を考えることができるようになる。
４．用具に関する知識を身につける。
＊オンデマンドでの受講では、以上の到達目標を達成することが難しい。このため、対面授業とする。
　ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生については、その期間のみ課題学修などによって対応する。

提出課題

中間期レポート、期末期レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

本授業では、スイングに関する実践課題が主となる。
そのため、体格・体力差のある学生を個別に指導する。
すなわち、教員が課題に取り組んだ際の受講生全員のスイングを個別に動画撮影する。
その際、動画解析ソフトを使用しながら個人別に口頭でスイングについて指導し、フィードバックを行う。

評価の基準

※授業実施時間数の内、4回以上欠席した者は単位を認定しない。
※授業中の評価：授業態度・実技点など・・・・・・・・・80%
※中間期・期末期のレポート評価…２０％
※新型コロナ感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、その時に詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

初心者向けの授業内容となっています。
ゴルフ用手袋を各自用意すること(右打ちの場合は左手、左打ち場合は右手側のみで良い)。
※ゴルフ用手袋を含む、運動に適した服装、シューズ等を忘れた場合、同日の実技授業に参加することはみとめられません。
天候や状況によって授業計画を変更する場合があります。

教科書

参考図書

その他

適宜、プリントを配布する。

授業計画

1　オリエンテーション　本授業の目的、進行、評価について
2　用具の説明と使用
3　エチケット、マナー、ルールについて
4　ショットの基本Ⅰ　グリップ、スタンスと姿勢、クロスハンドでのショット練習Ⅰ
5　ショットの基本Ⅱ　アドレスの入り方、クロスハンドでのショット練習Ⅱ
6　アイアンの基本Ⅰ　ボールの位置と視点
7　アイアンの基本Ⅱ　ウェッジ、ショートアイアンについての説明と技術練習
8　アイアンの基本Ⅲ　ミドル・ロングアイアンについての説明と練習
9　ウッドの基本Ⅰ　グリップ、スタンスと姿勢、スイング、ボールの位置
10　ウッドの基本Ⅱ　各種ウッドを使用しての練習
11　ショット練習Ⅰ　ダウンザラインの位置設定と反復練習
12　ショット練習Ⅱ　打ちだしの方向、ボール位置とスタンス
13　各種クラブを使用してのショット練習Ⅰ
14　各種クラブを使用してのショット練習Ⅱ
15　状況に応じたショットを選択する際、どのような技術が必要となるか解説し、練習方法を述べる。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	○	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習…スイングにおける技術や理論について、書籍、動画を通じて知識を蓄えておくと良い(120分)。
復習…スイングの練習は、ある程度必要となる。(120分)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の５項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。
集団や個人でスポーツ実践へ取り組む中で、明るく元気で、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力、つまり「ネアカ　のびのび　へこたれず」の精神を育むことができる。また、問題点やその要因を発見し、自らが進んで取り組めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組むことにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。
生涯にわたってスポーツと関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。
以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
本学での実務経験や、近畿ゴルフ学会での研修をもとに、個人に応じた指導を行いたい。
すなわち、受講学生全員について動作解析を行い、個人毎に指導する授業を展開する。

備考